

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科							
科目名	環境概論							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)／選択科目(デザインコース)							
担当者	依田 浩敏							
授業の到達目標(シラバスから)	①建築分野における環境工学とはどういうことかを理解し、説明できる。(B3) ②建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。(B3) ③建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。(A6,B3)							
日程と内容	9/17 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 9/24 気象・気候 10/8 採光（光の単位、採光調整、均斉度） 10/15 採光計画 10/22 照明（照明の条件、照明器具、照明方式） 10/29 色彩（表色系、マンセル表色系） 11/12 色彩計画（色彩と心理、色彩調節） 11/12 最近の環境工学分野におけるトピックス：健康増進住宅について 11/19 日射（日射、日射量、建築物が受ける日射、日照調整） 11/26 換気（換気の方法、自然換気、機械換気、必要換気量、換気回数） 12/3 音響（音の性質、音の単位、デシベル表示値の和と差） 12/10 自然エネルギー利用（太陽光利用、太陽熱利用、パッシブな手法） 12/17 レポート課題『建築環境工学的（音・熱・光・空気など）な配慮をした住宅の実例』 12/24 定期試験に向けた総合演習と解説 1/14 定期試験 1/21 定期試験解説							
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	20%		
	演習	20%	計	100%				
授業到達目標の達成度	到達目標①・・・導入講義で解説することにより、目標は達成された。 到達目標②・・・室内環境の音・熱・光・空気といった物理的要素の基礎について教授することにより、目標は達成された。 到達目標③・・・演習課題を実施することにより、目標は達成された。							
反省点	合格率が95%で、昨年度の88%より大きく上昇した。総合評価は10点満点で8.1点と概ね好評であった。毎回、重要事項の穴埋め形式の資料を配付し、授業の後半30分程度で理解度確認のための小テストを実施した。資料の配付については、UNIVERSAL PASSPORTを活用し、学生個人によるダウンロードで対応した。予習学習や欠席時の資料受取に効果があった。座席指定を試行したが私語もなく効果があった。							
来年度の計画	資料の配付については、UNIVERSAL PASSPORTの利用を継続する。 今年度導入した毎時間ごとの授業評価、理解度チェック、座席指定については、次年度も継続する。							
授業評価アンケートに対するコメント	穴埋め形式の資料を配付について好評であった。 また、講義に対する質問を受け付け、次の講義で回答・補足説明したことも、好評であったことから、次年度以降も継続していく。 合格率が上がったことは評価できる。建築士試験対策のレベルを維持していく必要がある科目であるので、継続的に理解度を上げていく。							
履修登録者数	111名	定期試験受験者数	103名	合格者数	98名	合格率	95%	